

新技術・製品情報

災害時における管理組合向けの 飲料自販機による新たな社会貢献への取り組み

■現在の状況

大規模災害時は、行政機関による「公助」だけでは限界があるため、「自助」や「共助」も含めた総合的な対応が不可欠となっており、各家庭における備え以外に、「会社」「公的機関」「観光施設」等の不特定多数の人が集うエリアでも、自発的な災害対応の準備が進められるようになってきた。

■これまでの経緯

マンション管理組合にクローズアップすると、「災害対応備蓄品」を準備できたとしても備蓄品の「有効期限」や「消費期限」などのわずらわしい管理を管理組合が行う必要があり、また、一定期限毎に新しい災害対応備蓄品を更新するためのコスト等が課題となっていた。

■これからの動き

社会貢献の一環として、飲料自動販売機設置業者は災害時に飲料を無償で提供する「災害対応救援ベンダー（以下、「救援V」）」と呼ばれる飲料自動販売機の設置を推進している。この「救援V」は特殊な仕組みを持った自動販売機で、普段は通常の飲料自動販売機として利用でき、地震などの災害時にライフラインがストップした際は、「救援V」内の商品が無償で提供されるようになっている。（要契約）

現在、「救援V」の設置は、主に「企業法人向け」に普及しており、所定の条件をクリアした「新築マンション」にも設置が拡大している。

災害救援ベンダー

※仕様が変更になる場合があります。

普段の日は・・・通常の自販機として稼働

停電になっても飲料商品が取り出せる機能
(バッテリー内蔵タイプ)



災害や緊急事態の発生で停電になった時に、管理者の操作で非常用電源より必要な電力を供給して、庫内の商品を搬出する機能を持った自動販売機。

- ①非常用電源内蔵
全天候型・完全屋外対応
- ②電源コード1本
コンセント1つ
- ③ニッケル水素電池使用
交換期間5年

災害発生時

1. 管理者が鍵スイッチを右に回す
2. 非常用電源に切り替わり無料販売状態へ
3. 選択ボタンを押すと商品搬出

◎ 停電後48時間以内のSW切替えにより最大連続500本の商品搬出が可能。
※ 冷蔵・加温機能はカットされる。

停電になっても飲料商品確保と携帯電話の電源が確保できる機能
(自家発電機内蔵タイプ)



災害発生時

1. 充電量メーターが緑の範囲になるまでハンドルを回す
2. 商品選択ボタンを押すと商品搬出
3. スイッチを「携帯充電」に切り替えれば携帯電話に充電ができる(充電用ケーブル付き)

また、「既存のマンション」に対しても設置の推進が検討されており、自動販売機内の商品も 12 社の飲料メーカーの中から、最新の災害対応基準（既存マンション向け仕様 19 項目）に合致した「救援 V」（5 年契約前提）を選定できる制度を提供することになった。

飲料自動販売機設置企業は 4 社がエントリーし、マンション管理組合向け統一規格で 2016 年秋より本格的に推進する見込みとなっている。

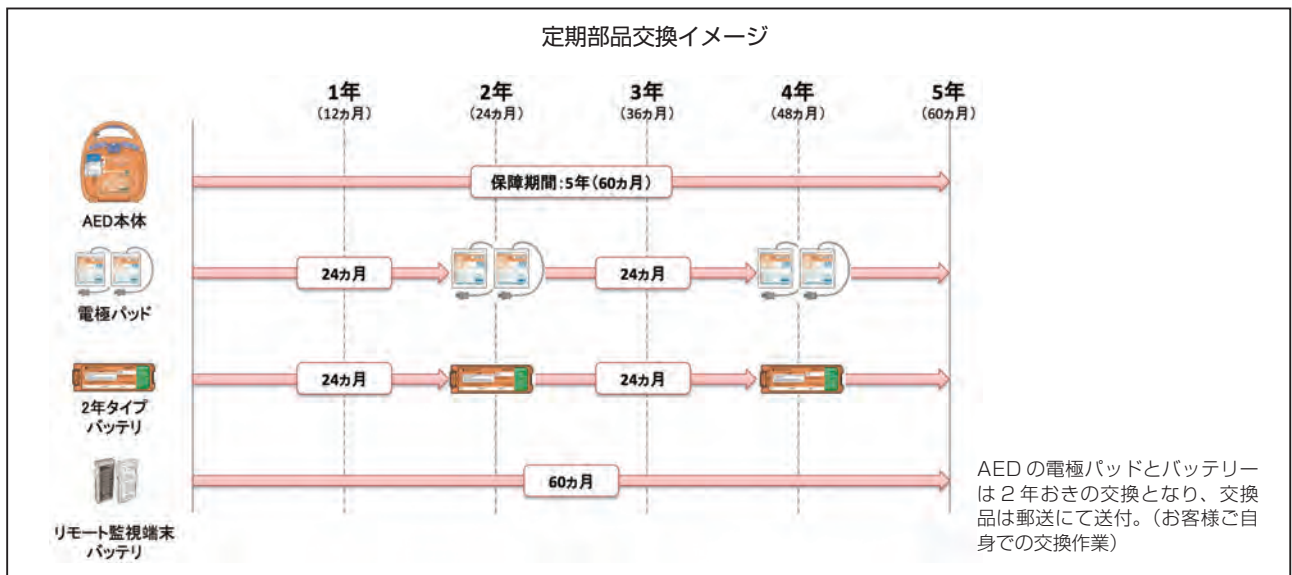
■付加サービス（貸与条件あり）

さらに「救援 V」の自動販売機の商品販売量が多く見込まれる管理組合に向けては、希望により、「救援 V」と共に、「備蓄飲料水」と「AED（自動体外式除細動器）」を無償で貸与するサービスが付加される。

貸与される備蓄飲料水は、1 年毎に消費期限の長い備蓄飲料水（または 5 年間で品質が保持可能な飲料）に交換、また、AED に備え付けのパッドの有効期限管理も飲料自動販売機設置業者が行うことになっている。

■まとめ

今回、紹介した取組みでは、管理組合が計画する災害備蓄品すべてに対応可能なわけではないが、災害備品の一部にこのサービスを利用することにより、災害の備えに対するコスト削減と災害対応備品管理業務の一部削減が期待できる。また、併せて一次救援隊が到着するまでのマンション住民向けの水分の確保及び緊急時の AED 常備により、安全・安心への備えをより充実させることが可能となる。



エントリー条件（災害対応救援ベンダー機 無料設置・貸与にあたり）

- ① マンション世帯数が 100 世帯を超えていること。
- ② 自販機の設置期間 5 年及び設置スペース無償提供の承諾。
- ③ 電気代の負担（¥ 2,000- /月程度）。
- ④ 「飲料自動販売機設置事業者」の所定の審査があり、当サービスが適用されない場合もあり。

上記を予めご確認、ご了承いただけるマンション管理組合の方が対象。